地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…地域密着型介護老人福祉施設 ゆうなぎホーム

サービス種類…地域密着型介護老人福祉施設

会議開催日…令和6年9月25日

開催場所…ゆうなぎホーム交流ホール

出席者

事業所	3 人	利用者	人
利用者家族	1人	地域代表者	3 人
松江市職員	0人	包括支援センター	1人
知見を有する者	人	その他 ()	人

施設長挨拶

・9月には敬老会を行う。感染症予防対策のため、まだご家族を呼ぶことができなかった。現在24名の利用。空きもあり、相談を受け付けている。

議事

- ① 運営状況について(R6年7月1日現在)
 - ・入居者数 24 名 (男性 3 名・女性 21 名)
 - ・平均介護度 3.7
 - ・平均年齢 91.9歳(男性最高年齢 91歳 女性最高年齢 102歳)
 - 空室状況 5室
 - ・入退去状況 令和6年度の状況入居5名 退居6名
- ② 事業所からのお知らせ
 - ホームの風景
 - ○夕涼み会
 - ○誕生会
 - ○ボーリング大会
 - ○盆法要
 - ○敬老祝賀会
 - ○感染症予防研修
- ③ サービス運営に関する意見・要望について

<施設>

・現在法人内施設でもコロナの感染があり、引き続きの感染症予防対策を行っている。市内のほかの事業所等の状況はどのような状況であるのか。

<包括>

・事業所の状況としては少なくなりつつあると感じるが、職員、その家族の 感染はみられている。

<地域>

・症状としてはどのような症状であるのか。世間ではマスクをしている人も 減っているように思う。利用者さんのワクチンはどのようにされるのか

<施設>

・症状は様々、高齢者、持病を持つ方は心配している。入院される方もある。 ワクチンについては嘱託医と相談しているところである。ご家族に意向を 確認し実施予定である。

<地域>

・ホームの食事の状況を確認したい。大芦の施設での調理が困難となった場合はどのように対応するのか。

<施設>

・非常食対応の準備があり、BCPに沿って対応をしている。

<地域>

・能登半島の水害の状況を見ると、島根町も他人ごとではない。砂防ダムの 工事も始まり少しは安心ではあるが道路の遮断等の心配もある。地元の協力をえる体制ができればと思う。

<施設>

・自然災害は想定のレベルをどんどん超えている。BCP の研修、訓練を実施し、見直しを行ってく。

次回 令和6年12月27日14:00~予定

※事業所確認欄

□活動報告についての評価を受けることができたか。	\circ
□要望・助言等受ける機会を設けたか。	0